

新計画の目標設定について

1 目標設定の方向性について

- 資源循環型社会の構築に向けて、区民一人ひとりが取組みをイメージしやすい指標と目標達成を実感できる目標値を設定する。
- 国の基本の方針を踏まえ、3Rのうち特に優先されるべき発生抑制に重点を置いた取組みを行うとともに、発生抑制に関する指標を計画目標に設定する。
- 取組みの効果を定期的に検証し、必要に応じて取組みの見直しや新たな取組みを検討するため、新たに取組指標を設定する。

2 指標の設定について

(1) 指標の分類について

新計画における指標については、資源循環型社会の構築に向けた目標値への達成度合いを測る「計画目標」と目標達成に向けた具体的な取組み事項の成果を測る「取組指標」の2つに分けて設定する。

<指標の分類>

分類	目的
計画目標	資源循環型社会の構築に向けた目標値への達成度合いを測る。
取組指標	目標達成に向けた具体的な取組み事項の成果を測る。

(2) 指標の項目について

- ごみの発生抑制に関する指標として、現計画に引き続き「区民一人1日あたりの区収集ごみ量（g/人日）」を計画目標に設定する。
- スーパーの店頭回収など販売店による自主的な回収が積極的に展開されており、区が把握可能な資源回収量を対象とする「資源化率」では、その成果を測定することは困難である。
- このため、新計画では「資源化された割合」ではなく、「家庭から排出されたごみに含まれる資源物の割合」の推移により、資源化に関する取組みの成果を測定し、取組指標に設定する。
- 事業者への働きかけの成果を測定する指標として、区が把握可能な大規模事業所（3,000㎡以上）における事業系ごみの再利用率を取組指標に設定する。

<指標項目の比較（新計画と現計画）>

		項目	方向性
計画目標	新計画	区民一人1日あたりの区収集ごみ量(g/人日) ※目標値については、別途説明	継続
	現計画	区民一人1日あたりの区収集ごみ量(g/人日) 17年度比で、29年度までに433g/人日にする。 資源化率(%) 17年度比で、29年度までに35%にする。	
取組指標 (新設)	新計画	家庭から排出されたごみに含まれる資源物の割合(%) (参考)28年度調査結果:20.3%	新設
		事業系ごみの再利用率(%) (※) (参考)27年度実績値:64.2%	新設

資源化に関する指標

3 目標値の設定について

新計画の目標値について、以下のとおり設定する。

区民一人1日あたりの区収集ごみ量（g／人日）について、
平成27年度の592 g／人日から
平成39年度までに484 g／人日にします。
（△108 g／人日）

- 区民一人1日あたりの区収集ごみ量について、平成20年度の725 g／人日から平成27年度の592 g／人日まで、過去7年間で133 g／人日（約18.3%）を減量している。

⇒（平成20年度実績725 g／人日－平成27年度実績592 g／人日）
÷平成20年度実績725 g／人日＝減量率約18.3%

- 新計画においては、同程度の減量率（約18.3%）を今後も維持することを目標とする。

⇒平成27年度実績592 g／人日×目標減量率18.3%
＝目標減量値108 g／人日
⇒平成27年度実績592 g／人日－目標減量値108 g／人日
＝平成39年度目標値484 g／人日

- 国の「第三次循環型社会形成推進基本計画（平成25年5月）」では、平成32年度に平成12年度比で約25%減（約500 g／人日）を目標としており、目標年度に相違はあるものの、新計画の目標値は、国の目標値より厳しい設定になっている。

新宿区では、平成20年度に平成12年度比で約25%減量を達成済み。
平成12年度：999 g／人日 → 平成20年度：725 g／人日（減量率：約27%）

- 目標達成に向けたイメージ図については、別紙資料3のとおりとする。

4 区収集ごみ量の推移について

現行の取組みを継続して実施した場合の区収集ごみ量（資料1参照）と現行の取組みを継続して実施するとともに、更なる取組みを行った場合の区収集ごみ量の推移を以下に示す。

（1）現行の取組みを継続して実施した場合

	平成27年度	平成30年度	平成34年度	平成39年度
区民一人1日あたりの 区収集ごみ量 (g/人日)	592	571	559	548
区収集ごみ量 (t)	72,459	72,988	73,354	73,136

（2）現行の取組みを継続して実施するとともに、更なる取組みを行った場合

	平成27年度	平成30年度	平成34年度	平成39年度
区民一人1日あたりの 区収集ごみ量 (g/人日)	592	565	529	484
区収集ごみ量 (t)	72,459	72,282	69,492	64,642

（3）増減数（＝（2）－（1））

	平成27年度	平成30年度	平成34年度	平成39年度
区民一人1日あたりの 区収集ごみ量 (g/人日)	0	△ 6	△ 29	△ 64
区収集ごみ量 (t)	0	△ 706	△ 3,862	△ 8,494

- 現行の取組みを継続して実施した場合、平成39年度において平成27年度比で、区民一人1日あたりの区収集ごみ量は、44g/人日減少するものの、区収集ごみ量は、677t増加する見込みである。
- 現行の取組みを継続して実施するとともに、更なる取組みを行った場合、平成39年度において平成27年度比で、区民一人1日あたりの区収集ごみ量は、108g/人日減少するとともに、区収集ごみ量も7,817t減少する見込みである。
- 現行の取組みを継続して実施するとともに、更なる取組みを行った場合、平成39年度において平成27年度比で、区民一人1日あたりの区収集ごみ量は約18.3%、区収集ごみ量は約10.8%の減量が実現可能となる。

<区収集ごみ量の推移比較>

